

平成28年度 技術交流助成 成果報告（海外派遣）



岩手医科大学 脳神経外科学講座

氏名 南波 孝昌

会議等名称 国際磁気共鳴医学会

開催地 米国ハワイ州ホノルル

時期 2017年4月22日-27日

1) 会議又は集会の概要

国際磁気共鳴医学会の学術集会である International Society of Magnetic Resonance in Medicine (ISMRM) は今年で 25 回目を迎え、世界中の医学および生物学における磁気共鳴技術の革新、開発、応用に関して、基礎的研究者と臨床医が一同に介して議論する場である。また、化学者、物理学者、エンジニア等も参加することから、多くの専門家との交流が期待される。

2) 会議の研究テーマとその討論内容

我々の施設では、これまでに ^1H -Magnetic Resonance Spectroscopy (^1H -MRS) で計測可能な脳温の変化が脳循環代謝と関与していることを明らかにしてきた。今回、新たに、一側性脳主幹動脈慢性狭窄閉塞性病変において、 ^1H -MRS を 2 次元へ拡張した方法を用いて大脳深部白質の脳温を計測し、positron emission tomography (PET) 上での脳循環代謝障害と相関することを明らかにしたことから、その新たな臨床応用の可能性について発表し、議論するため参加を行った。

3) 出席した成果

今回、私が採択されたのは E-poster という発表形式であり、指定された日時および時間に、用意されたブースの前で約 1 時間、あらかじめ抄録を見て興味を持った、もしくは通りすがりの参加者達の前で power point にてプレゼンテーションおよび質疑応答を行うというものであった。具体的な撮像方法の内容や、結果についての解釈、また今後の臨床応用へのアイデア等、海外の研究者達から様々な意見を得られ、大変満

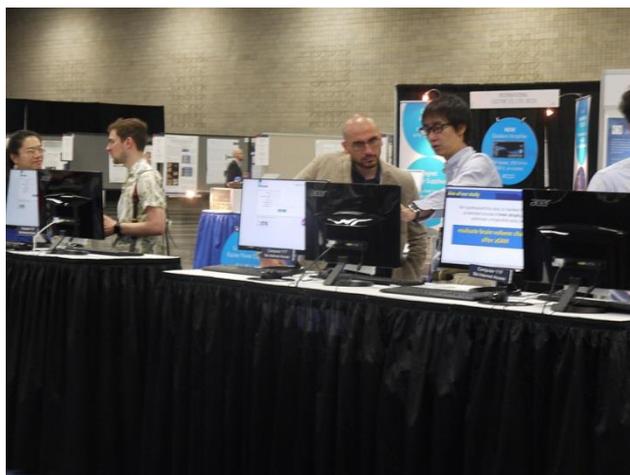
足ることができた。また日本国内の学会発表とは違う雰囲気を体感することができたことも、貴重な経験となった。加えて、教育講演や他の研究者達の発表を聞くことで、別の視点や新たな研究テーマの発掘につながるヒントを海外研究者達との交流を通して得ることができ、とても有意義であった。

4) その他

今回、中谷医工計測技術振興財団より助成金を賜り、誠に感謝しております。おかげで、これまで私自身が経験したことのなかった、国際会議への参加が実現できました。若手研究者の裾野拡大を目指す中谷医工計測技術振興財団の理念に恩返しができるよう、今後の研究活動に日々勤しんでいく所存です。この度は本当にありがとうございました。



E-poster ブースの前で記念撮影



プレゼンテーションの様子